

騒ぐ浪の日も、「唯母校の爲に!!」と強いノ、信念の下に練習を積む、我等の伎倆は加速度的の進境を示して行くのだつた。戦ひて轉ずる事六度、我々の希望は空しく水泡に歸した。併し僕等は愛する母校の爲に唯有る限りの意氣と力を以てこのシーズンを終始した事を此處に斷言して敢て過言とは思ひません。諸君の御希望に反し、御後援の萬分の一にも添ふ事の出来なかつた事は僕等の最も残念に思つてゐる次第です。以下其概記をしるし、報告と致します。

湖東大會出場之記

二百米リレー
 一着 本校チーム 二分七秒
 二着 井口、伊吹、目加田、森 二分二十四秒
 三着 八商チーム 二分二十五秒
 千五百米自由型
 二十七分十秒
 初陣山原力戦空しく遂に四着となる。
 富士原五着てやむ。
 一着 近藤 (彦商)

二百米馬場 (八商)
 三着 西川 (彦商)
 百米自由型
 伊吹スタートダッシュ物凄く五十のターンにて、磯谷をワンストローク抜いて居たラストにて弱りタッチ差で磯谷に破れ遂に二位となる。藤本善く戦ひて五着に食ひ込む。一着磯谷 (彦商)
 二百米自由型
 一着 森 (本校) 二分四秒五
 二着 田川 (彦商) 三分一八秒
 三着 杉田 (八商)
 四着 山原 (本校) 三分二二秒
 五着 廣道 (八商)
 六着 中川 (彦商)
 二百米平泳
 一着 山田 (本校) 三分十三秒
 二着 増田 (彦商)
 三着 高木 (彦商)
 四着 吉川 (本校)
 五着 西村 (八商)
 六着 目方 (八商)
 山田初陣とはいへ断然他を壓す。
 四百米自由型

目加田 (本校) 一着、岡庭惜くも二着を八若 (彦商) に譲る。
 百米背泳
 一着 井口 (本校) 一分二〇秒
 二着 大谷 (本校) 一分二六秒
 三着 近藤 (彦商)
 四着 原田 (八商)
 五着 木村 (八商)
 六着 藤本 (彦商)
 井口悠々一着續いて新進大谷ゾールに流れ込む。
 八百米繼泳
 一着 本校 十一分二十五秒
 二着 井口、大谷、目加田、森 十二分
 三着 八商
 三百米混合繼泳
 一着 本校 三分五十九秒
 二着 彦商
 三着 八商
 總得點
 優勝 本校 七一點
 彦商 五七點
 八商 三三點

此處に我等は榮えある優勝を獲得し、二年連續優勝の榮譽を得ました。そして翌日大きな希望を抱いて、一路金澤の地に向ひました。

近縣中等學校競泳大會

(北陸新聞主催)

戦ひ終りて僕等は再び此の彦根の地に歸つて來ました。僕等は諸君に對してどうお詫びして良いかその言葉もわかりません。七月二十二日午後僕等一行七名、勇躍戦ひの地、金澤に向ひました。一同元氣旺盛、同日夕刻には、無事彼地に到着しました。明くれば翌二十三日!!
 北陸の夏の空は飽く迄も明朗
 戦ひの開始僕等の血潮は高鳴り、肉は躍り唯、唯、僕等は愛校の一念に馳られて戦ひました。
 併し僕等の誇る若さにも矢張り限り有るものとす。
 潑進、準決と戦ひの進むにつれ次第に疲労の度を加へて來ました。總勢僅か六人、併も全ての者が五種目に出場してゐるのです。十

度戦うて其後に愈々決勝となる、その時の疲労!!
 僕等は互に勵まし合ひ共に全力を傾けて戦ひました。それに反して僕等の敵手はどうでせう。充分な人数と、充分な經驗とそして充分な應援とに全く自信を持つてゐる彼等です。結局僕等の戦ひは無理でした。追に僕等は破れました。其差僅か九點!!
 併も最後の八百米繼泳に一着になれば完全に僕等は勝利の榮冠を手にする事が出來たのです。そして當然そうなるべきだったので運命の神の悪戯、それは余りにも僕等にとつては深刻でした。
 戦ひ終りてあの榮ある優勝旗が敵將安田君の手に授けられる時僕等は悲運の涙をのみながら、敵軍の名譽の爲に心からの拍手を送りました。嗚呼その時の僕等の心中、全く感慨無量でした。
 再び選手席に歸つた時、僕等の涙はもう抑へ切れませんでした。それは不覺の涙ではありません。無念の涙、嫉みの涙でもありませんでした。唯戦ひて悔ゆる處無き若人の感激の涙でした

赤鬼健兒の意氣を充分に發揮した感ひの涙、たつたのです。
 水泳部の諸君、もう一度戦つて下さい。あの思ひ出の地金澤で!! 緑の風に靡くプラタナスの下で!! 母校の爲、たゞそしてあの清らかな僕等の涙の爲に!!
 そして亦あの榮ある優勝旗を懐しの母校に齋さんが爲に!!
 縣下大會の記
 金澤の戦ひの翌日疲れた体を提げて再び戦ひに栗田の地へ向ひました。
 二百米繼泳豫選
 B組
 一着 水口中學 タイム二分五秒四
 二着 彦根中學 二分七秒四
 三着 大津商業 井口、伊吹、目加田、森
 二百米平泳豫選
 A組
 吉川 (本校) よく奮闘して四着に入りベストオブオースにて入選す。
 C組
 山田 (本校) 力をセーブしつ樂々と二着入選す

四百米自由型

- A 組
- 一着 菅 沼(栗農) 五十分五秒二
 - 二着 河原林(今中) 六分二十秒四
 - 三着 山 原(本校) 六分二十七秒
- 若輩山原力泳せしも僅か一秒の差でベストサ
ードより落つ。
- 百米自由型豫選

- A 組 伊吹奮闘せしが四着にて止む。
- B 組
- 一着 森 (本校) 一分八秒八
 - 二着 竹 谷(膳中) 一分九秒九
 - 三着 服 部(栗農) 一分十一秒五
- 百米背泳豫選

- A 組
- 一着 井 口(本校) 一分二十秒三
 - 二着 橋 本(膳中) 一分二十六秒
 - 三着 林 (栗農) 一分二十六秒
- 井口鮮かに他を制しゴールに入る。
- B 組
- 大谷(本校)良く戦ひ三着となり。
 - ベストサードにて入選す。
 - 二百米自由型豫選
- B 組 岡庭四着にて止む。

C 組

- 一着 岩 崎(膳中) 二分四十二秒
 - 二着 目加田(本校) 二分四十六秒
 - 三着 大 井(栗農)
- 目加田惜しくも一位を譲る。
- 二百米平泳準決勝

- A 組 吉川、五着にて落選。
- B 組
- 山田終始大橋と接戦せしもラストにて、老巧
大橋に破られしも二着。
- 堂々決勝戦に進む。
- 決勝の部
- 二百米繼泳決勝

- 一着 栗 田 農學
 - 二着 今 津 中學
 - 三着 水 口 中學
 - 四着 彦 根 中學 一分七秒一
 - 五着 大 津 商業
- トップ井口スタート悪く三着となり伊吹につ
ぐ伊吹大いに奮闘せしもラスト弱り四着にな
る、目加田そのまゝ森につぐ森大いに力泳し
たが及ばず四着となる。
- 千五百米自由型決勝(タイムレース)
- 山原(弟)の力泳及ばず、富士原の力戦も空

二百米自由型決勝

- 一着 岩 崎(膳中) 二分三十七秒九
 - 二着 中 井(栗農) 二分四十一秒
 - 三着 杉 本(膳中) 二分四十一秒四
 - 四着 目加田(本校) 二分四十六秒
 - 五着 小 原(今中)
 - 六着 内 藤(今中)
- 目加田スランプ氣味で元氣なくラストで杉本
に破れ四着となる。
- 百米背泳決勝

- 一着 井 口(本校) 一分二〇秒一
 - 二着 望 月(水中) 一分二二秒八
 - 三着 橋 本(膳中) 一分二三秒六
 - 四着 中 村(今中)
 - 五着 小 南(栗農)
 - 六着 大 谷(本校) 一分二七秒
- 井口、大谷を優勢に導んが爲に、セーブしつ
ゝ泳ぎラストにて完全他を壓すれども、僅か
〇・一秒にて縣下新記録に及ばざりしを大い
に残念がる。大谷奮闘せしも報られず。
- 百米自由型決勝
- 一着 森 (本校) 一分七秒八
 - 二着 西 村(大商) 一分八秒五

西部日本中等學校競泳
大會出場之記

西部日本!! 日本海の荒波に鍛えし北陸の
雄、懐くが如き太陽、紺碧の南太平洋に練つ
た、台南の鏡、西部日本の水の猛者、此處に
集ふ事實に五百有餘、中等競泳の檜舞台だ!!
若きスイマー熟と意氣と勝利の歌が高らかに
叫ばるゝ處。

我が彦中水泳部も森(自由型)井口(背泳)
兩君を代表として参加せしむ。

折悪しくも高商プール排水中にて使用不能
土用波立つ不完全な湖畔にての練習で西日本
の諸豪連に果して何處迄肉迫し得るか?

森君(百米自由型)まず第一種選樂々と通
過、縣下隨一の實力を示す。第二種選。運惡
くも猛者連に挟まれ頗る苦戦だ、併し彼も流
石に老巧だ力奮闘一時は頗る優勢なれど矢
張り練習不足、如何ともし難い。遂にゴール
際にて惜しくも失格す。

井口君(五十米背泳)第一種選他を悠々壓
し堂々二着。次いで第二種選だ。此頃より會
場にての晝食の爲か腹痛を覺ゆれども強ひて
戦ふ。小松商業明、修道中學長久等と共にス

三着 竹 谷(膳中) 一分十秒

四着 松 田(水中)

五着 高 丙(栗農)

六着 岩 佐(今中)

森道々西村をワンストロークの差で破り一
着となるも之も僅か〇・二秒にて縣下新記録
に及ばず。

二百米平泳決勝

一着 大 橋(栗農) 三分三秒五

二着 井 上(膳中) 三分一六秒

三着 吉 田(栗農) 三分二十秒

四着 山 田(本校) 三分二十一秒

五着 森 (今中)

六着 高 木(彦商)

山田元氣なくラストにて井上、吉田に破られ
る。

八百米繼泳決勝

一着 栗 田 農學 十分二八秒

二着 膳 所 中學 十分五十秒六

三着 今 津 中學

四着 彦 根 中學 十一分二二秒八

五着 大 津 商業

三百米混合繼泳

一着 栗 太 農學 三分五七秒二

二着 彦 根 中學 四分〇秒四

三着 膳 所 中學 四分四秒

四着 今 津 中學

五着 彦 根 商業

六着 大 津 商業

トツ井口栗農を抜く事二身、山田につぐ山
田、栗農、大橋に差をつめられ同着で森にわ
たす森の力泳及ばず遂に差僅か半米にて第二
位となる。

得點 六五四三二一

「リレー個人共」

得 點

優勝 栗 太 農學 六三點

二着 膳 所 中學 三七點

三着 今 津 中學 三一點

四着 彦 根 中學 三〇點

五着 水 口 中學 一五點

六着 大 津 商業 一一點

以下略す

大會終了後百米背泳井口平泳山田、二百米
目加田の四君を名譽ある京滋對抗水泳大會滋
賀軍代表と定められる。

スタートより猛烈なる競り合ひ、立つ水煙、躍る波、渦巻く聲援、八人一瞬にゴールに流れ込む。併し矢張り實力の相違だ、際どいといへ三着にて堂々決勝戦に進む。

併し、嗚呼榮冠は去りしか、準決勝終る頃より井口君の腹痛益々激しさを加へ、其夜は烈しい吐瀉、暗れの決勝戦を明日に胸中悶々として一夜を明す。

愈々決勝戦だ、前日の午後より食するものといへば僅か林檎一個!! 戦ひは豈ろ悲壯だった併し彼は良く戦つた、實に炎ゆる愛校の意氣と力が戦つたのではなかつたやうか。

併し遂に彼は破れた。決勝に残る者僅か八人其第七位とは惜敗と言へば惜敗だ。

併し例へ破れたりとはいへ榮ある西部日本中等競泳の檜台に二人は準決、一人は決勝に其歩を印したといふ兩君の功は我が彦中水泳部未曾有の事であり、且つ亦我が水泳史にエポックを劃したと謂ふべきではなからうか。

關西中等學校競泳大會

(明大主催)

此日早朝より曇天にして風強く波高くコン

デインジョン頗る感し。

背泳七點 百米四點 胸泳三點 續泳三點

豫選
百米自由型 森 一着 時間一分七秒
二百米繼泳 本校 二着 時間二分六秒
四百米自由型 目加田 四着

第四位 膳所中學 十四點
以下略

二百米胸泳 山田 三着 時間三分二十秒
百米背泳 井口 一着 時間一分二十秒
大谷 三着 時間一分二六秒

近縣中等學校水上大會

四高主催 四高プール(二十五米)

二百米自由型 目加田 四着

二百米繼泳豫選
A組
一着 本校 二分三秒三
二着 京都二中 二分七秒
三着 金澤商業

準決勝
百米自由型 森 二着 時間一分八秒
二百米胸泳 山田 三着 時間三分十六秒

本校完全なる第一位
二百米平泳第一豫選

決勝
百米背泳 井口 一着 時間一分十九秒
井口悠々他を制し堂々一着、大谷奮闘空し。

A組
一着 宇和野(京一中) 三分十一秒二
二着 山田(本校) 三分二十四秒
三着 塚本(松任農)

四米自由型 森 三着 時間——

B組
一着 荒木(金二中) 一分九秒
二着 伊吹(本校) 一分十秒四
三着 廣瀬(京一中)

森の力泳も遂に及ばず惜しくも破る。

二百米平泳 山田 四着 時間三分十五秒
接戦の一字に盡す彼の健闘も遂に成らず。

二百米繼泳 本校 四着 時間二分五秒二
得點(參加校十六校)

B組
一着 小松、京二中最初より猛烈な接戦
ラスト森にて他をはなす。

優勝校 京都二商 四十點
第二位 栗田農學 三十點
第三位 本校 十七點

C組
三着 二木(小松商)

一着 森 (本校) 一分七秒三
二着 白尾(金澤中)
三着 松本(京一中)

二着 目加田(本校) 二分三六秒
三着 松本(京一中)

三百米混合繼泳豫選
一着 本校チーム 三分五秒四
二着 京都二中チーム 三分五秒六
三着 小松商チーム 三分五秒七

八百米自由泳第一豫選
D組
一着 山原(本校) 十二分三三秒
二着 明(小松商) 十三分〇三秒
三着 大笹(京二中)

一着 千原(京都師) 一分二八秒九
二着 山田(本校) 一分二八秒九
三着 上野(金一中)

八百米自由泳第二豫選
一着 中(西(京一中)) 十二分五秒
二着 山原(本校) 十二分十九秒
三着 安田(小松商)

五十米背泳豫選
B組
一着 徳田(松任農) 三七秒二
二着 浅井(京二中)
三着 大谷(本校) 三九秒

一着 本校チーム 一分三秒六
二着 京二中チーム
三着 金澤商業チーム

山原堂々安田を破る。
百米自由型第二豫選
A組
一着 森(本校) 一分七秒四
二着 谷口(京二中) 一分八秒七
三着 荒木(金一中)

二百米自由型第一豫選
C組
一着 井口(本校) 三七秒一
二着 小原(金二中) 四一秒五

井口樂々泳いで一着斷然他を離す。

B組
一着 大谷(本校) 一分二四秒
二着 政田(京一中)

大谷ベストスタートにて入選す。

大谷京一中政田をひねり一着となる。

森スタートより物凄く谷口を休一つ抜く。

A組
一着 森(本校) 二分三六秒八
二着 四谷(金澤商) 二分四四秒
三着 水牧(金二中) 二分四五秒

四百米自由泳第一豫選
A組
一着 山原(本校) 五分五一秒四
二着 牛村(金一中) 六分六秒

B組
伊吹スタート悪く三着となる。一着松本(京

C組
一着 谷口(京二中) 二分三五秒二

二着 牛村(金一中) 六分六秒

伊吹スタート悪く三着となる。一着松本(京

一(中)
百米平泳第二豫選

- B 組
- 一着 野口(京一中) 一分二六秒七
 - 二着 大槻(京二中)
 - 三着 山田(本校) 一分二九秒
- 山田、野口、大槻について居たがラストで惜くも僅か遅る。

二百米自由泳第二豫選

- A 組
- 目加田他を断然抜く二着政田(京一中)

B 組

- 森樂に泳いで二着となる一着谷口(京二中)

二百米平泳第二豫選

B 組

- 一着 野口(京一中) 三分一〇秒
 - 二着 山田(本校) 三分一五秒
 - 三着 小田(京二中)
- 山田スタートよく京都の雄野口と接戦せしもラストにて負ける。

四百米自由泳第二豫選

A 組

- 一着 中(西(京二中)) 五分四二秒
- 二着 目加田(本校) 五分五一秒

- 三着 中川(京都師) 五分五九秒
- 目加田三百米にて中西に抜かれ二着となる。

B 組

- 山原京洛の雄平谷、結城、北陸の雄安田を向ふに廻し二百までトップを切つて泳げども次第に疲れ惜しく接戦の後四着となり落つ。

二百米繼泳決勝

- 一着 本校チーム 二分二秒七 (本大會新記録)
- 二着 金澤中學チーム 二分五秒二
- 三着 京都二中チーム
- 四着 京一中チーム
- 五着 金澤商チーム
- 六着 小松商チーム

トツプ伊吹ワンストロークの差で二着

目加田力泳し金中、京二中と同着で井口に繼ぐ猛烈なダッシュ断然他を壓し一着となり森につぐ森二着を四米はなす。

百米平泳決勝

- 一着 野口(京一中) 一分二〇秒九
- 二着 細辻(京一中)
- 三着 小田(京二中)
- 四着 大槻(京二中)

- 五着 山田(本校) 一分二七秒九
 - 六着 千原(京都師)
- 山田、京都軍を相手に非常に苦戦して五着にて止む。

百米自由泳決勝

- 一着 谷口(京二中) 一分六秒二
 - 二着 森(本校) 一分七秒二
 - 三着 荒木(金二中)
 - 五着 廣瀬(京一中)
 - 五着 安田(小松商)
 - 六着 伊吹(本校) 一分九秒
- 森スタート悪くラスト頑張れど遂に、谷口に一着を譲る伊吹も力泳せしも惜しくも六着に落つ。

八百米自由泳決勝

- 一着 平谷(京二中) 一分三六秒
 - 二着 結城(京一中) 一分四二秒
 - 三着 中西(京一中) 一分四五秒
 - 四着 安田(小松商)
 - 五着 山原(本校) 一分一〇秒
 - 六着 松田(京都師)
- 山原、安田と接戦せしもターンの失敗にて五着となる。

五十米背泳決勝

- 一着 明(小松商) 三四秒四
 - 二着 井口(本校) 三四秒五
 - 三着 浅井(京二中)
 - 四着 徳田(松任農)
 - 五着 大谷(本校) 三八秒五
 - 六着 熊谷(金二中)
- 井口インターミドルのナンバーツ、明を相手にスタートするや兩雄頭をならべて進み同時に二十五をターン水煙を上げ大接戦をなすわや一着と思つたが惜しくもタツチの差で破れ大いに残念がる其の差僅か〇・一秒大谷五着にて止む。

二百米自由泳決勝

- 一着 谷口(京二中) 二分二八秒
 - 二着 小谷(京二中)
 - 三着 目加田(本校) 二分三六秒
 - 四着 森(本校)
 - 五着 中川(京都師)
 - 六着 政田(京一中)
- スタートするや谷口一人とびだし森、目加田と續いたが百二、三十より小谷、目加田出て森四着となり。目加田三着。

二百米平泳決勝

- 一着 野口(京一中) 三分三秒二

卒業するに當つて

戦ひは終りました。僕等の長い水泳生活も全く過去の思ひ出となつてしまひました。澄んだ碧い水、入道雲の立つ蒼い空、胸に一中のマークを付けたユニ

フォームで泳いだ僕等、そして意氣に感じ、感激に泣き、友情に抱かれ、長い五年の間を全く兄弟の様に共に親しく過して来た僕等、今その懐かしい母校を、水泳部を棄れたんとする僕等の胸は言葉で盡せない感激で一抔なのです。やがて之の長い水泳生活から得た強い体力と不撓の意氣とで男々しく社會への一歩を踏み出す僕等です。僕等の去つた水泳部を再び背負つて戦ひに臨む後輩諸君に、そして炎ゆるが如き御援助を頂いた母校の諸君に、去る者としての希望を一二述べます。

水泳部の諸君に對して。長い五年間、全く無意味に何ら残す所もなく去つて行く事を深くお詫び致します。併し諸君最後迄戦つて下さい。私の事に拘はらず、あく迄も若きスポーツマンらしく堂々と戦つて下さい。例へ僕等は去つたとはいへ矢張り懐しい母校の、そして水泳部の一員だつたのです。僕等て出来得る限りの、便宜をも計らひませう、指導をも致します。そして君達の爲には良き先輩たらん事をお誓ひします。僅か十幾人の部員ではあるがその中に一人にせよ其の行動に相背馳する者あればどんな結果を生ずるか、諸君も良く知つておら

れる事と思ひます。後輩諸君が一九二〇年となつてガッチリとスクラムを組んで戦つて下さい。そして緑の湖畔に赤鬼健児の勝利のエンルを高らかに叫ぶる、日を切に望んでゐます。

諸君、僕等今此の懐しい水泳部を去るに當つて長い過去五年間を追想して見る時に、選手生活其者に對しては、深い尊敬と感謝とを捧げたい様な感して一杯です。

例へば學業に於ては劣る者があるかも知りません。併しあの若い無邪氣な愉快な友と共に感じ、共に泣いたあの純真な氣持、他の何物に依るとも得難いものでせう。

嘗て僕等は金澤の地に二度戦ひ、二度ながら惜敗の運命を荷なつたのでした。

黄昏の仙石原頭に、友と抱き合つて悲運を泣いたあの時のあの氣持!!あの純真な氣持!!僕の生涯にとつては亦と得難い尊い経験でした。

そして五年間鍛えたこの固い團結心、この純情そしてこの腕、何物にも代へ難い僕等の唯一の武器です。
僕は今母校を去るに當つて共に集つて選手諸

君がこの剛健な精神とこの鍛へた腕で、社會の荒波に男々しく戦ふ様こそ僕が最も自信を以て、亦最も大きな楽しみを以て見詰たい點です。五年間の選手生活!!それは僕等一個人にとつては決して無意味なものではありませんでした。まだまだ諸君に、色々と申し上げたい事は多々あるのですが紙面が限られておりますから後日に譲ります。
拙文で貴重な紙面を汚しました事を深くお詫び致します。
最後に諸君の御健康と武運長久を祈つて筆を擱きます。



雜 錄

學校日誌抄 (昭和八年)

- 一 日 (日) 拜賀式
大和田書記叙勳祝賀會
- 九 日 (月) 始業式
- 十一日 (水) 寒稽古開始
- 二十日 (金) 寒稽古納會
- 二十三日 (月) 柔劍道紅白試合
- 二十五日 (水) 犬上郡内小學校長トノ懇談會
- 二十六日 (木) 四五年野外演習
- 三十一日 (火) 縣學務部長來校視察
植松海軍少將ノ講演
- 二 月
- 二 日 (木) 彦根高商教授管野氏講演
- 三 日 (金) 一、二、三學年野外演習
- 九 日 (木) 豫饒會開催
- 十一日 (土) 紀元節拜賀式
- 十七日 (金) 第五學年考査開始

- 二十二日 (水) 五年考査終了
- 二十五日 (土) 四年父兄會
- 二十七日 (月) 四年考査開始
- 三 月
- 三 日 (金) 四年考査終了
- 七 日 (火) 卒業式
- 十 日 (金) 陸軍記念日
狩野少佐講話
招魂社國威宣揚祈願祭
- 十三日 (月) 三年父兄會
- 十四日 (火) 三年以下考査開始
- 十八日 (土) 三年以下考査終了
- 修業式
- 二十六日 (日) 入學考査
- 二十八日 (火) 入學許可者氏名發表
- 四 月
- 八 日 (土) 始業式
入學式
- 十三日 (木) 大和田書記告別式、丸山書記新任式
- 二十日 (木) 女學校ニテ後藤蒼洋氏講演聽講
- 二十四日 (月) 三年野外演習
宇會川へ全校行軍

二十九日 (土) 天長節拜賀式

五月

一日 (月) 創立記念日

ボートレース開催(港灣)

五日 (金) 五年野外演習

七日 (日) 四年修學旅行隊出發

十日 (水) 招魂社祭 全校參拜

十三日 (土) 四年旅行隊無事歸校

十五日 (月) 五年父兄會

十九日 (金) 一年野外演習舉行

二十五日 (木) 九師團司令部附平田少將來校
閱團分列式

二十六日 (金) 二學年以上臨時考查開始

二十七日 (土) 海軍記念日(舉式)
全校分列式

三十一日 (水) 臨時考查終了

六月

一日 (木) 講堂落成式施行

五日 (月) 御親閱記念日
閱團分列式

九日 (金) 縣參事會會計檢査
道場開

十六日 (金) 第四學年父兄會開催

二十二日 (木) 小學校トノ連絡會開催

二十八日 (水) 矢野高商校長ノ講話
千原教諭 勤務演習應召(三週間)

七月

五日 (水) 學期末考查開始

九日 (月) 學期末考查終了

十日 (火) 水泳開始

十七日 (月) 杉山梅吉氏歐米視察談

十八日 (火) 彦商神商工業本校四校聯合ノ劍道試合

二十日 (木) 水泳終了

二十二日 (土) 閱團分列式
修業式
狩野教官告別式

一日 (金) 始業式

笠井教諭告別式

竹内教官 飯野教諭新任式

縣主催學校衛生講習會
同窓會開催

四日 (月) 白田先生告別式

五日 (火) 寺川先生告別式

十日 (日) 尾田教諭新任式

十三日 (水) 縣視學官視察

十五日 (金) 四年野外演習

十六日 (土) 第一回活動寫真映寫

十八日 (月) 防空演習 非常時呼集 防空講話

二十二日 (金) 招魂社參拜

二十六日 (火) 四年五年縣下聯合演習參加

二十七日 (水) 同上

十月

八日 (日) 陸上運動會

十一日 (水) 安達督學官視察

十二日 (木) 太田教諭新任式

二十日 (金) 陸軍陣中宴(本校講堂)

二十二日 (日) 大元帥陛下奉送迎於(彦根驛構内及大洞)

二十三日 (月) 同上

二十九日 (日) 武道大會(滋賀縣教育會)

三十日 (月) 五味教諭新任式

三十一日 (火) 大元帥陛下奉送迎(於彦根驛構内及大洞)

十一月

三日 (金) 朝香宮妃殿下薨去
明治節拜賀式遠慮

四日 (土) 臨時考查開催

八日 (水) 同上終了

九日 (木) 小學校トノ懇談會

十日 (金) 國民精神作興ニ關スル詔書捧讀式及ニ非常
時ニ關スル講話

十三日 (月) 行幸記念式舉行 武道大會

十四日 (火) 第五學年生徒兵營宿泊

十五日 (水) 同上

十六日 (木) 同上

十七日 (金) 同上 上歸校

二十日 (月) 一年父兄會

二十四日 (金) 三年父兄會

十二月

五日 (火) 教練查閱

六日 (水) 坂田郡小學校トノ連絡會(米原校)

十二日 (火) 犬上郡小學校トノ連絡會

十三日 (水) 考查開始

十八日 (月) 考查終了

二十三日 (土) 閱團分列式 親王殿下御降誕奉祝式
終業式

二十九日 (金) 招魂社ニテ在町中等學校聯合
皇太子殿下御命名奉祝式

校友會各部役員

會長 足立芳之助
副會長 松田彦二郎

◇學藝部

理事 居井先生
委員(五年) 西村久雄
委員(四年) 國枝理雄
委員(三年) 目加田一雄
藤田先生
相場德三
田中卷太郎
安藤權一

◇雜誌部

部長 尾田先生
理事 平井先生
委員(五年) 杉橋均五
委員(四年) 山田惠一
委員(三年) 島井澄久
西垣正勝
千原先生

委員(五年) 大崎先生
委員(四年) 有川幸久
委員(三年) 中島午郎
西村正作
居長賢藏
上村文太郎

委員(五年) 杉橋均五
委員(四年) 山田惠一
委員(三年) 島井澄久
西村正作
居長賢藏
上村文太郎

◇圖書部

理事 今野先生
五味先生

委員(三年) 清水良作
小財龍太郎

◇野球部

部長 佐藤先生
理事 平井先生
委員(五年) 原重信
委員(四年) 西川寬一
委員(三年) 太田元夫
石坪先生
高橋巖三
成宮信雄

委員(五年) 原重信
委員(四年) 西川寬一
委員(三年) 太田元夫
成宮信雄

◇庭球部

部長 平井先生
理事 町田先生
委員(五年) 淺島昭
委員(四年) 小山泰藏
委員(三年) 馬淵賴信
藤田先生
松宮敏雄
前田多喜男
山川清

◇競技部

部長 寺本先生
理事 小野先生
委員(五年) 那須原邦男
委員(四年) 元持善衛
委員(三年) 中溝孝太郎
石田秀宏
居井先生
藤本富雄

委員(五年) 大崎先生
委員(四年) 筒井賢三
委員(三年) 島本八郎
飯野先生
山中龍三
西川良秋
久末英次
上林久一郎
丸山吉夫
勝田敬三

委員(五年) 中村弘
委員(四年) 田邊三郎
委員(三年) 杉江太次郎
中村音次郎
島本八郎
勝田敬三

◇武道部

部長 太田先生
理事 村山先生
委員(五年) 橋本末藏
委員(四年) 大原一夫
委員(三年) 北野輝夫
橋本良雄
內田先生
平居龍太郎
島本良三
細野德太郎
田中太一郎
宮川清

委員(五年) 橋本末藏
委員(四年) 大原一夫
委員(三年) 北野輝夫
橋本良雄
內田先生
平居龍太郎
島本良三
細野德太郎
田中太一郎
宮川清

◇端艇部

部長 宮原先生
理事 薄木先生
委員(五年) 丸岡芳之
委員(四年) 三輪久左衛門
渡邊先生
松本清
野瀬元雄

委員(五年) 宮原先生
委員(四年) 薄木先生
委員(三年) 丸岡芳之
三輪久左衛門
井上顯敬
大村耕太郎
野瀬元雄

◇水泳部

部長 白井先生
理事 後藤先生
委員(五年) 杉原先生
委員(四年) 井口敏彦
委員(三年) 山田敏雄
岡庭益男

委員(五年) 杉原先生
委員(四年) 井口敏彦
委員(三年) 山田敏雄
岡庭益男

會計報告

昭和八年度校友會收支概算

收入概算 一、二七八、五五五
前年度繰越 一六五、八八
職員出資 月一五、〇八 十一月分
生徒出資 平均六百二十八十一月分
四月現在六百五十八人
新入會費 三〇〇、〇〇
預金利子 三五、〇〇
計 五、八七一、四三五

支出概算

五十周年記念式費繰越	二〇〇、〇〇
同 本年度積立	一〇〇、〇〇
端艇新造費繰越	一五九、六一
同 本年度積立	一〇〇、〇〇
學 藝 部	五〇、〇〇
圖 書 部	二八三、〇〇
雜 誌 部	三四一、〇〇
武 道 部	四二四、六〇
端 艇 部	六八六、〇〇
野 球 部	七四八、九九
庭 球 部	三四五、〇〇
競 技 部	二三九、七八
水 泳 部	一七〇、七八
陸上運動大會	二一五、〇五
運動場修繕費	四〇〇、〇〇
園 藝 費	一五〇、〇〇
衛 生 費	五〇、〇〇
道 具 費	一五〇、〇〇
遠 足 費	三〇、〇〇
賞 品 費	一〇〇、〇〇
卒業式及豫饌會費	二〇〇、〇〇
雜 費	三三〇、〇〇
豫 備 費	三七七、六二五
計	五、八七一、四三五

編輯後記



雪、雪、大雪三尺の雪に埋もれた屋根の重さ。弱い光線が放課後の薄
 寒い校舎に射し込んで、火鉢の火も少い。編輯が今やつと終つた

こゝに校友會誌第四十三號を諸君の前に送るに際し、雜誌部關係の諸
 先生の甚大なる御骨折に對し深く感謝の意をさしげ、併せて副部長寺川
 先生にも誌上を以て御禮申し上げます。

若人の純情！、そのまゝ紙上に形となつて溢れ出たのを喜ぶと同時に
 殊に多種であつた原稿が丁數制限其の他いろ／＼の事情によつてその多
 分を採用することが出来なかつたことを、私達の力の及ばないところと
 ふかく御詫び申しますが、その量に於てはとも角も質といふ點もお考へ
 下さつて諒とせられんことを御願致します。

校長先生をはじめ諸先生から、玉稿を頂くことが出来並びに在外會員
 の淺島兄滿島兄からも消息を戴きまして、誌上を飾ることが出来たのを
 厚く御禮申します、部報に於ては部により多少精粗がありますが、本年
 に於て簡明にすぎた部は來年度に於てかゝることのない様尊い諸君の奮
 闘史ですから進んで報告して下さるやうお願ひします。

五年の諸君にはいよ／＼御卒業です、この會誌もこれで五冊目になる
 思ひ出の光輝ある一中生活も夢のやう、もう社會への一歩を踏み出す直
 前となりました。どうか御卒業の後も彦中魂、赤鬼スピリットを永く發
 揮されるやうお祈ります。ではさよなら、校庭の蘇鐵よ、銀杏よ、櫻よ
 古き校舎に新しき七百の元氣よ、幸よと雄叫んでお立ち下さい。

(西垣正勝)

投稿の注意

- 投稿者は所定の原稿用紙を用ひらねたい。
- 原稿には年級姓名を明記し、各種類に依り別紙に認め、雅號署名は許さない。
- 點、丸、括弧等は一字に算入する。
- 他人の名譽を毀損し、論の政治的時事に涉るものは採用しない。
- 投稿締切期日は必ず厳守すること
- 原稿の採否は凡て雜誌部々長及び理事の鑑識の範圍とする。
- 原稿の返戻は一切應じない。

明治廿七年五月三十日内務省認可
 昭和九年二月八日印刷
 昭和九年二月十一日發行

【非賣品】

發行所 滋賀縣立彦根中學校 校友會
 代表者 尾田 鶴治郎
 印刷者 滋賀縣彦根五番町六二ノ一 村下 斯康
 印刷所 滋賀縣彦根五番町六二ノ一 村下 印刷所

